

# 高松市立栗林小学校 体力向上プラン

## 【学校教育目標】

### よく学び よく遊び よく働く 子どもを育てる

「確かな学力の定着」「健やかな心と体の育成」「心の豊かさの実践」

## 【目標】

- 運動が好きと答える子どもの割合を、H29年度までに80%にする。
- 狭いスペースを活用して、工夫して遊ぶことで、体を動かすことの楽しさを味わい、積極的に運動する子どもを育成する。

## 【取組み】

### なわとび月間

体育館でなわとび運動に取り組んでいる。なわとび検定カードを作成し、各学年に応じた合格ラインを達成した子どもには、賞状を渡している。さらに、冬季にはプールにマットを敷き、なわとびで活用できるように工夫している。



### 栗っ子体操

始業前の時間を利用し、体育館で週に2日行っている。委員会の子どもたちが考えた動きをつなぎ合わせた、オリジナルの体操である。また、始業前だけではなく、体育の授業の準備体操にも取り入れていきたい。



### 栗林TKP（体力向上プロジェクト）

始業前の時間を利用し、委員会の子どもたちが考えた運動を行い、新体力テストに必要な力を高められるようにしている。様々な種目を用意し、みんなが楽しみながら体力を高められるようにしている。



### スポーツフェスティバル

各学年、年に1度高松市東部運動公園へ行って運動をしている。ボールを使ったり、リレーを行ったりして、外で思い切り遊ぶことができるようにしている。ペア学年で行き、ふれあい活動も行っている。



## 【現状】

新校舎建設により、運動場がなくなっているため、休み時間に外遊びができない状況である。子どもたちは、週に1度、学年に割り振られている体育館使用日に、体育館でボール遊びや鬼ごっこをして遊んでいる。しかし、1学年およそ200人全員が体育館で遊ぶことはできず、教室でトランプをしたり、読書をしたりして過ごしている子どもがほとんどである。

体育の授業においては、近くの仮設運動場を使用しているが、移動時間も含めて行っているため、十分な時間を確保できていない。さらに、仮設運動場を使用できるのは、3～6年生のみとなっている。

## 【本校の課題】

- 全ての学年において、男女ともに総合得点で県・全国平均の値を下回っている。
  - 5年生男女とも、1週間の総運動時間が全国平均を下回っている。
  - 体育の授業が楽しいと答えた子どもは全国平均を上回っているが、運動が好きと答えた子どもが全国平均を下回っている。
- 体育の授業以外でも、体を動かす楽しさ、「できた」という自分の技能の伸びを味わわせる必要がある。